

平成 2 3 年

安全・安心なまちづくり関係功労者
内閣総理大臣表彰

受賞団体（団体名五十音順）

- 大町校下防犯組合（富山県警察）
 - 幸町 1 丁目防犯パトロール隊（千葉県警察）
 - 周布地区安全安心推進協議会（愛媛県警察）
 - 関の子広場パトロール隊（福島県警察）
 - 登美丘地区防犯委員会（大阪府警察）
 - 富雄地区子ども安全対策協議会（奈良県警察）
 - 防犯パトロール隊かつやま（山口県警察）
 - 宮一商店街サミット防犯委員会（埼玉県警察）
 - 矢上団地自治会連絡協議会（長崎県警察）
 - よこてレインボーパトロール隊（秋田県警察）
- （ ）は、推薦者



平成 2 3 年 1 0 月 1 1 日

警察庁生活安全局生活安全企画課

功 績 概 要

推 薦 者	富山県警察
団 体 名	大町校下防犯組合
所 在 地	富山県魚津市
代 表 者	吉野 克紀
功 績 の 概 要	昭和３０年８月、犯罪のない安全で安心なまちづくりを理念として、公民館を拠点に地域安全活動及び青少年健全育成活動を開始。 毎日の登下校時間帯及び毎週月曜日の午後７時から午後９時までの間、青色回転灯装備車２台により独自のパトロール音を吹鳴して、昼間は通学路を中心に、夜間は地域全体を隈なく巡回。 地域安全活動に小学生を取り込み、ジュニアパトロール隊を設置するなど、若年層からの防犯の意識付けを行うことで次代を担う防犯ボランティアの育成を図り、活動の停滞や組織の硬直化を防止。ジュニアパトロール隊とともに校区内を探索して、危険箇所の点検、安全マップを作成し、これを校区内の全１，１００世帯に配付。 また、自治会、老人会、婦人会、保護者会などの参加を得て、通学路の危険箇所における子ども見守り活動を実施するなど、幅広い世代の自主防犯活動の活性化に貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	千葉県警察
団 体 名	幸町 1 丁目防犯パトロール隊
所 在 地	千葉市美浜区
代 表 者	蟹江 将生
功 績 の 概 要	平成 1 7 年 7 月、自動車盗、車上ねらい等の街頭犯罪が多発したこと等を受けて、自治会やケーブルテレビ等の広報媒体等を通じて、広くパトロール参加者を募集し結成。 毎日、子どもの下校時間帯（午後 1 時～午後 3 時）に青色回転灯装備車を活用して見守り活動を行うほか、月 1 5 回、午後 1 0 時から翌午前 2 時までの間、パトロール活動を実施するなど地域の安全に貢献。 また、地区ケーブルテレビを活用した防犯広報や、隊の活動状況を随時放映するなど、メディアを有効に活用して防犯思想の啓発活動を実施。 さらに、県防犯設備士協会の協力を得て街の防犯診断を実施し、その結果をもとに、見通しの悪い生け垣の整備、街頭照明器具の清掃・交換のほか、駐車場管理会社に防犯カメラの設置を働きかけるなど防犯環境の改善に尽力した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	愛媛県警察
団 体 名	周布地区安全安心推進協議会
所 在 地	愛媛県西条市
代 表 者	戸田 寛
功 績 の 概 要	平成１５年４月、大型商業施設が急増するなど市街化に伴う治安の悪化を懸念した地域住民が、「自分たちの地域は自分たちで守る」との意識から、少年非行防止や犯罪のない明るい町の実現を目指して結成。 毎日、小学校の下校時間に徒歩や青色回転灯装備車を活用した子ども見守り活動のほか、不審者情報や侵入犯罪の発生情報に基づき、夜間の青色回転灯装備車による活動も実施。 また、地域の大型スーパーなどでの万引きの多発を受けて、各店舗に対して理解・協力を求め、地域内のスーパー、書店等でパトロールジャンパー等を着用した店内巡回活動を実施。現在では、県内の万引き防止対策の指導的役割を担う。 さらに、地元高校生防犯ボランティア団体と協働し、ビラ等の撤去活動、各種犯罪被害防止の広報啓発活動を行うなど、少年の健全育成と地域の防犯意識高揚に大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	福島県警察
団 体 名	関の子広場パトロール隊
所 在 地	福島県いわき市
代 表 者	正木 康弘
功 績 の 概 要	平成１９年６月、犯罪や交通事故の多発、少年のい集などの問題を受け、地域住民が主体となって運営する安全安心拠点施設「関の子広場」の開設とともに結成。 月曜日から土曜日の午前９時から午後７時までの間、サポーター７名～１０名が「関の子広場」に在所し、地理案内等を実施するほか、小・中学校の下校時には通学路において子ども見守り活動等を実施。 また、地元の中学生、高校生と協働した環境美化活動、犯罪被害防止キャンペーン活動を実施し、若年層の防犯意識の高揚に尽力。 東日本大震災に際しては、サポーター自身が被災したにもかかわらず、被災住民の避難所への誘導、避難所への支援物資搬送、炊きだし協力などを実施したほか、子ども見守り活動、高齢者の安否確認、高齢者宅への飲食物搬送等を実施するなど、被災者の不安感を解消するとともに、震災により弱まっていた地域の絆を再生・復活させる原動力となり、地域の安全・安心に大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	大阪府警察
団 体 名	登美丘地区防犯委員会
所 在 地	堺市東区
代 表 者	池崎 守
功 績 の 概 要	平成１４年４月、地域の刑法犯認知件数、街頭犯罪認知件数が急増したことを受け、警察に対して治安回復に向けた意見の申し入れを行うことを目的に結成。 毎日、青色回転灯装備車等による登下校時の子どもの安全見守り活動を実施するとともに、毎月第２水曜日には約３００人の大規模合同パトロールを実施。 また、犯罪が発生すれば、すぐに体制を整え、その翌日から集中的に防犯パトロールを行うなど、警察と連携した犯罪抑止活動に尽力。 さらに、行政に対して支援を働きかけ、防犯カメラや防犯灯の設置など防犯環境の改善に努めることにより、ひったくりを激減させたほか、独自の情報発信システムによる警察と連携したタイムリーな地域安全情報の提供、地域コミュニティＦＭを利用した防犯広報等の先進的かつ効果的な防犯対策を導入し、地域住民の防犯意識の向上と治安回復に尽力。 防犯活動を通して、地域社会の連帯感や絆を醸成し、安全・安心なまちづくりに大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	奈良県警察
団 体 名	富雄地区子ども安全対策協議会
所 在 地	奈良県奈良市
代 表 者	安達 孝雄
功 績 の 概 要	大阪の池田小学校児童殺傷事件を受けて、地域における子ども見守り活動の重要性を認識し、平成１５年４月、「地域の子どもをみんなで見守ろう」をスローガンに掲げ、学校・ＰＴＡ・地域の三者を中心に富雄地区の子どもの安全・安心なまちづくりを目的に設立。 通学時間帯に、通学路で子ども見守り活動を実施するほか、小学校の正門、裏門に子どもを見守る防犯小屋を設置し、同小屋に会員２～３名を常駐させるとともに、通学路に防犯カメラを設置・運営するなど、児童の安全確保に尽力。 さらに、平成１６年１１月に地元で起きた女児誘拐殺人事件を風化させないため、奈良市教育委員会等と連携した集会の開催、「子ども安全の日」の制定と広報啓発活動に尽力するなど、地域の防犯意識の向上に大きく貢献。 犯罪の起きにくい社会づくりを目標として、「命の大切さ」、「もう一度初心に戻り、事件を知らない人とも共有して未来へつなげていきたい」という思いを活動理念にして、子どもの安全対策を通じた地域の絆の醸成を図った。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	山口県警察
団 体 名	防犯パトロール隊かつやま
所 在 地	山口県下関市
代 表 者	井上 勝一郎
功 績 の 概 要	平成１９年８月、駅周辺の自転車盗の増加や違法駐車・駐輪、公園等での若者のい集や痴漢等の性犯罪が多発するなど、治安への不安の高まりを受け、地元の有志により設立。 毎日、児童の登下校時間帯には、児童への積極的な声かけを行いながら、通学路の立哨や防犯パトロールを実施しているほか、子どもが安全に遊べる環境を整備するため、管理者と連携を図りながら、公園、地下道、ガード下等のパトロールや清掃活動を実施。 また、活動のマナー化防止と更なる活性化を図るため、地元大学の学生防犯ボランティアと合同で自転車の防犯診断活動などを実施。 団体の活動を通じて得た地域の各種情報に独自の分析を加え、毎年、活動報告書を作成・配布して地域にフィードバックすることにより、地域全体の防犯意識の向上に大きく貢献し、活動地域の刑法犯認知件数の減少に尽力した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	埼玉県警察
団 体 名	宮一商店街サミット防犯委員会
所 在 地	さいたま市大宮区
代 表 者	村上 充廣
功 績 の 概 要	平成１５年４月、違法風俗店の乱立に苦慮していた商店街の有志が、大宮警察署の助言を受けてパトロールを開始したことをきっかけに結成。 毎週木曜又は金曜の午後８時から１時間程度、２０人で警察官とともに徒歩によるパトロール活動を継続実施し、違法な区域への風俗店の出店を防止するとともに、通行を不自由にさせていた風俗店等の呼び込みを減少させることに貢献。 また、さいたま市内にある芝浦工業大学システム工学部と共同で、安心・安全なまちづくり研究を行い、年２回（３月及び１０月）大宮区役所において発表会を開催するなど、地域住民及び駅周辺の商店街利用者の防犯意識の高揚にも尽力。 さらに、割れ窓理論に基づく活動として、環境美化活動、放置自転車対策、路上喫煙禁止の啓発活動なども行い、小さなマナー違反も許さないという姿勢を地域住民に示すことにより、安全・安心なまちづくりに大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	長崎県警察
団 体 名	矢上団地自治会連絡協議会
所 在 地	長崎県長崎市
代 表 者	佐藤 安平
功 績 の 概 要	平成5年4月、新興住宅街として誕生した地区の急激な人口増加に伴い、犯罪等の増加が懸念されたことから自主防犯活動を行うことを目的に結成。 年末年始を除く毎日、徒歩によるパトロールと併せた児童の下校時間帯の見守り活動を実施するとともに、地区内の小・中学校との友好的な関係を構築して相互の情報交換により、学校行事や校外授業の実施時にも青色回転灯装備車によるパトロールを適宜実施。 さらに、小・中学校の通学路における視認性確保のための取組みとして、協議会会員による樹木の剪定活動を毎年実施するほか、地域住民による定期的な一斉清掃活動を企画実践するなど、防犯のため環境美化活動を実施。 また、NPO法人を設立し、廃品回収（古紙、空き缶）や英会話教室の開催による収益をパトロール活動に伴う車両のリース代やガソリン代等に充てるなど、工夫を凝らした活動を展開し、自主防犯活動を永続的に実施する方策を確立するなど、安全・安心なまちづくりに大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】



功 績 概 要

推 薦 者	秋田県警察
団 体 名	よこてレインボーパトロール隊
所 在 地	秋田県横手市
代 表 者	藤本 堅悦
功 績 の 概 要	平成１６年１２月、旧横手市内で配達などを行う７業者（新聞・牛乳等配達業、電気・水道検針業等）の経営者・従業員らが、それぞれの自分たちの業務の特徴を生かして地域の安全を守ろうと決意して結成し、「７（業者）」という数字から光り輝く７色の虹をイメージして「よこてレインボーパトロール隊」と命名、活動を開始した。 ７業種の各業者の活動場所、活動時間帯が異なることから、構成員がそれぞれの活動時間帯に応じて高齢者の安否確認、危険箇所の把握、子どもの見守り活動などを交互に行うことにより、昼夜を問わず市内全域の警戒を実施。また、防犯意識を広く浸透させるため、女性隊員が中心となって劇団を設立し、振り込め詐欺防止、子どもの犯罪被害防止、交通事故防止等の寸劇を行うなど、防犯への広報啓発活動を幅広く実施するとともに、そのノウハウを惜しむことなく他の団体に教示するなど、県内の防犯意識の高揚に尽力。 同隊の活動により設立当初と比較し、地元警察署管内の刑法犯認知件数を約４５パーセント減少させるなど、地域の安全・安心なまちづくりに大きく貢献した。

【 活 動 状 況 】

